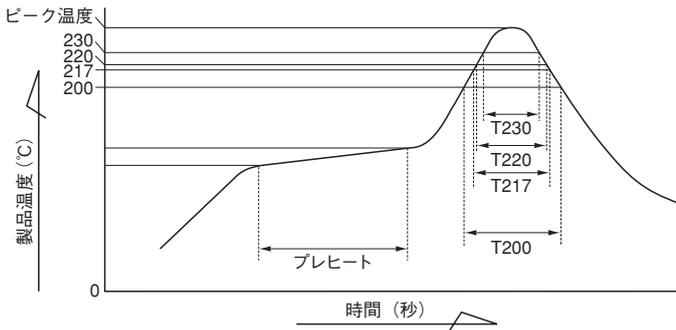


アルミニウム電解コンデンサ ALUMINUM ELECTROLYTIC CAPACITORS

■はんだ付け推奨条件



T200 : コンデンサ表面の温度が200℃を超える時間(秒)
 T217 : コンデンサ表面の温度が217℃を超える時間(秒)
 T220 : コンデンサ表面の温度が220℃を超える時間(秒)
 T230 : コンデンサ表面の温度が230℃を超える時間(秒)
 温度測定部: ケーストップ
 許容範囲を超える場合は、弊社までご相談ください。

No.	種類(シリーズ)	サイズ	プレヒート	ピーク温度	230℃を超える時間	220℃を超える時間	217℃を超える時間	200℃を超える時間	リフロー回数
1	チップ形導電性高分子アルミニウム固体コンデンサ (PCF, PCJ, PCK, PCG, PCS, PCL, PCV, PCX, PCR, PCM, PCH, PCZ)	-	150~200℃で 60~180秒以内	260℃以下	60秒以内	-	70秒以内	-	1回まで (一部シリーズ※4は2回まで※5)
		-		250℃以下	60秒以内	-	70秒以内	-	2回まで※5
2	導電性高分子ハイブリッドアルミニウム電解コンデンサ (GYA, GYB, GYC, GYD, GYE)	-		260℃以下	40秒以内	-	50秒以内	-	1回のみ
		-		250℃以下	30秒以内	-	40秒以内	-	2回まで※5
3	チップ形アルミニウム電解コンデンサ (UZS, UZT, UWX※1, UWR, UWP※1, UWT※1, UWF, UWG, UUP, UUT, UUA, UUL, UCB, UCW, UCD※2, UCL, UCM※2, UCV, UUD, UUB※3, UCJ, UCZ※2, UCH, UCX※2, UUR, UUX※3, UUQ, UCQ, UUE※2, UBC※2, UBH)	~φ10		250℃以下	30秒以内	-	40秒以内	-	2回まで※5
4	チップ形アルミニウム電解コンデンサ (UWX, UWP, UWT)	φ8×5.4L		245℃以下	-	30秒以内	30秒以内	-	2回まで※5
5	チップ形アルミニウム電解コンデンサ (UZR, UZG)	3.9L	150~180℃で 120秒以内	240℃以下	-	30秒以内	30秒以内	-	2回まで※5 (φ6.3は1回のみ)
6	チップ形アルミニウム電解コンデンサ (UUX (160-400V), UUB (160-400V), ULT, ULH, ULR, ULV)	~φ10		240℃以下	-	30秒以内	30秒以内	-	2回まで※5
7	チップ形アルミニウム電解コンデンサ (UCD, UCM, UCZ, UCX, UUG, UUU, UUN, UUE, UBC)	φ12.5~		240℃以下	-	-	30秒以内	60秒以内	2回まで※5
8	チップ形アルミニウム電解コンデンサ※6 (UWJ, UWZ, UWD, UWH)	-		260℃以下	60秒以内	-	70秒以内	-	2回まで※5 (φ8×6.2L, φ10×10Lは1回のみ)

※1 : φ8×5.4LはNo.4参照。
 ※2 : φ12.5~はNo.7参照。
 ※3 : 160~400VはNo.6参照。
 ※4 : PCR, PCM, PCH, PCZシリーズを該当。
 ※5 : ただし、1回目と2回目の間に製品冷却に十分な時間を取ってください。
 ※6 : 高温リフロー対応品。

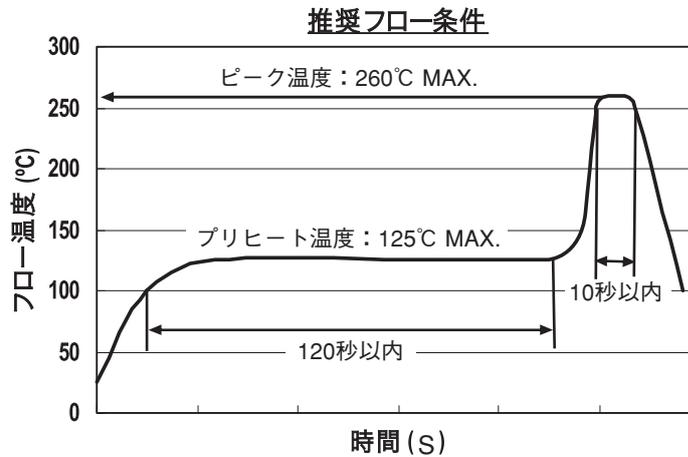
カタログ記載の ESR・インピーダンス値について

リード線形: 測定位置はリード線の根元とする
 チップ形: 測定位置は樹脂板の穴に最も近い電極部とする

FPCAP 鉛フリーおよびRoHS指令適合はんだ付け条件

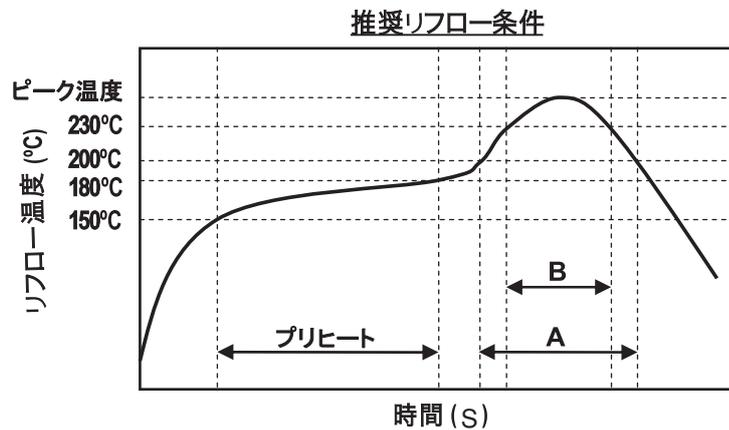
フローはんだ（リード線形）

RNS、RR7、RR5、RL8、RE5、RS8、RF8、RNU、RNE、RNL、RS6、RHT



リフローはんだ（チップ形）

RPS、RPA、RHS、RHA、RSS、RSA、RSB、RFS、RFA、RSL



項目	推奨条件 1	推奨条件 2
ピーク温度	260°C MAX.	250°C MAX.
プリヒート	150～180°C 90秒以内	150～180°C 90秒以内
A	200°C以上 60秒以内	200°C以上 60秒以内
B	230°C以上 40秒以内	230°C以上 40秒以内
リフロー回数	1回	2回以下